

入学によせて

～令和2年度入学式式辞より～

理事長・学校長 小林 弘斉



学校法人 小林学園 本庄東高等学校附属中学校

きりぐるま

第68号

春爛漫の今日、ここに第十五回入学式を挙行し、新入生、一三三名を迎えることができました。新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんの入学を心待ちにしています。学園生活に一日も早く慣れて、楽しく充実した毎日を送ってもらいたいと願っています。

三月には、新型コロナウイルスの広がりに伴い、私たちの日常生活が突然に変化してしまいました。新入生の皆さんにも、不安を感じた人や、毎日の過ごし方に困ったという人が多いかと思えます。今日から、中学生として新たな学園生活が始まりましたが、ウイルス感染を防ぐための努力は、しばらくの間、続ける必要があります。大人も子どもも、一人ひとりが予防のために注意をして、私たちの社会、国、さらには世界中の人の命を守らなければなりません。毎日の生活の中で、工夫や努力をしたり、時には我慢するということもあるでしょう。大変ではありますが、どんなことが必要か考え、何が正しいのかを判断して、落ち着いた行動をとることが大切です。皆さんが学校で勉強するのは、物事を自分で考えられるようになるためです。そして、自分で考えて判断できる力こそが、知恵というものです。これを身につけて、大きく成長してください。

また、新入生の皆さんには、命の尊さを知り、自分も他の人

も、ともに大切にできる人になっていただきたい。本学園の建学の精神は、「人間の尊さを教え、社会に期待される素地を創り、人生に望みと喜びを与える」というものです。私たち人間は、一人一人が他のものに代えることのできない、かけがえない存在だということをお忘れなく、自分も他の人も、すべての人を大切に思う気持ちがあれば、この困難な状況も必ず乗り越えることができるはずです。私たち学園の教職員とともに充実した学園生活にしていきましょう。

さて、保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症対策にご苦勞なさっている中、お子様の本校入学に向けたご準備を頂き、ありがとうございます。改めて、ご入学を心よりお祝い申し上げます。中学生という多感な時期を迎え、またこのような状況におきまして、お慶びとともに、ご心配も尽きないことと存じます。学校と致しましては、保護者の皆様との連携を密にしつつ、万全の体制をもって教育に当たる所存でおります。何卒、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに当たり、本日ご臨席を賜りましたご来賓ならびに保護者の皆様に感謝申し上げます。ともに、新入生の学園生活が実り多いものとなることを願い、式辞と致します。

「素直な心」で
教頭 島田伸一郎



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。夢の実現に向けた学園生活において、皆さんに心がけてほしいことがあります。それは、「心」の持ち方です。

私たちは今、新たなウイルスとの闘いを続けています。人類はこれまでも多くの病気と闘い、打ち勝ってきました。この苦難も、皆が力を合わせて立ち向かえば必ず乗り越えられるはず。そこで必要なのは、一人ひとりが自分のなすべきことをよく考えて、責任ある行動を取ることです。そのためには、自分のことだけでなく、他の人のことも思い、そしてまわりの状況も理解しなくてはなりません。その時に大切なのが、すべての人や物事に対して「素直な心」で向き合うことです。自分の思い込みで物事を決めつけてしまうと、間違いを生みます。分かつたつもりで、実はまるで分かつていないということにもなってしまう。

「素直な心」で物事を見ていけば、自分にできることとできないことが分かるようになります。そして、自分が何に取り組みべきなのか分かります。それを一つ一つこなしていくことが、自分の歩みを前に進めることになるのです。

常に「素直な心」を持ち、自分のなすべきことにしっかりと取り組んでください。今の困難に打ち勝つだけでなく、さらに充実した中学校生活を送り、皆さんには大きく成長してもらいたいと願っています。

二年生陶芸体験
二月十九日(水)に、皆さんのすごさを実感した。茶碗づくりは予想以上に難しく、簡単そうに見えるのは、至難の業です。職人(瀬古 珠里)

二月十九日(水)に、皆さんのすごさを実感した。茶碗づくりは予想以上に難しく、簡単そうに見えるのは、至難の業です。職人(瀬古 珠里)

二月十九日(水)、新設されたTGG(東京グローバルゲートウェイ)にて、一年生は英語による体験活動を行なった。僕たちの班のイングリッシュスピーカーは、とても陽気で面白い方で、ファーストフード店でトッピングを伝えたり、ドラッグストアで詳しい内容を伝えたりするのが難しかったです。「よく聞き取り、理解すること」が自分の課題だと感じました。TGGでは英語を使わなければならない場面日本語を使ってしまう自分の弱さや、具体的に相手に伝える必要性など、様々なことに気づけました。本当に感謝しています。(上野 優太)

和楽器に親しむ
二月十三日(木)・二十日(木)に三年生は箏を体験しました。講師の三古谷先生をお招きして、丁寧に教えていただきました。講義では、箏に限らずたくさんの和楽器に触れながら、時代を遡って学ぶことができました。箏の体験では、「さくらさくら」を全員で演奏し、箏の難しさや魅力を実感しながら、楽しんで弾いている姿が印象的でした。また、最後の先生による生演奏にはとても感動して、とても貴重な時間となりました。



一年生TGG
二月十九日(水)、新設されたTGG(東京グローバルゲートウェイ)にて、一年生は英語による体験活動を行なった。僕たちの班のイングリッシュスピーカーは、とても陽気で面白い方で、ファーストフード店でトッピングを伝えたり、ドラッグストアで詳しい内容を伝えたりするのが難しかったです。「よく聞き取り、理解すること」が自分の課題だと感じました。TGGでは英語を使わなければならない場面日本語を使ってしまう自分の弱さや、具体的に相手に伝える必要性など、様々なことに気づけました。本当に感謝しています。(上野 優太)

二月十九日(水)、新設されたTGG(東京グローバルゲートウェイ)にて、一年生は英語による体験活動を行なった。僕たちの班のイングリッシュスピーカーは、とても陽気で面白い方で、ファーストフード店でトッピングを伝えたり、ドラッグストアで詳しい内容を伝えたりするのが難しかったです。「よく聞き取り、理解すること」が自分の課題だと感じました。TGGでは英語を使わなければならない場面日本語を使ってしまう自分の弱さや、具体的に相手に伝える必要性など、様々なことに気づけました。本当に感謝しています。(上野 優太)

じゃがいも植え
二月二十九日(土)、一年生は三クラス合同で、じゃがいもを植えてきました。急遽日程を変更しての行事となりましたが、多くの生徒が楽しんで取り組んでいました。晴天に恵まれ、土のふかふかとした感触が新鮮だったようです。この日に植えたじゃがいもは来年度に収穫し、持ち帰る予定です。新しい畑で、立派に育つことを期待しています。

令和元年度 検定合格者数

	英 検	漢 検	数 検
準1級	1	-	-
2 級	24	13	3
準2級	39	19	38
3 級	81	53	70
4 級	58	71	63
5 級	-	57	67